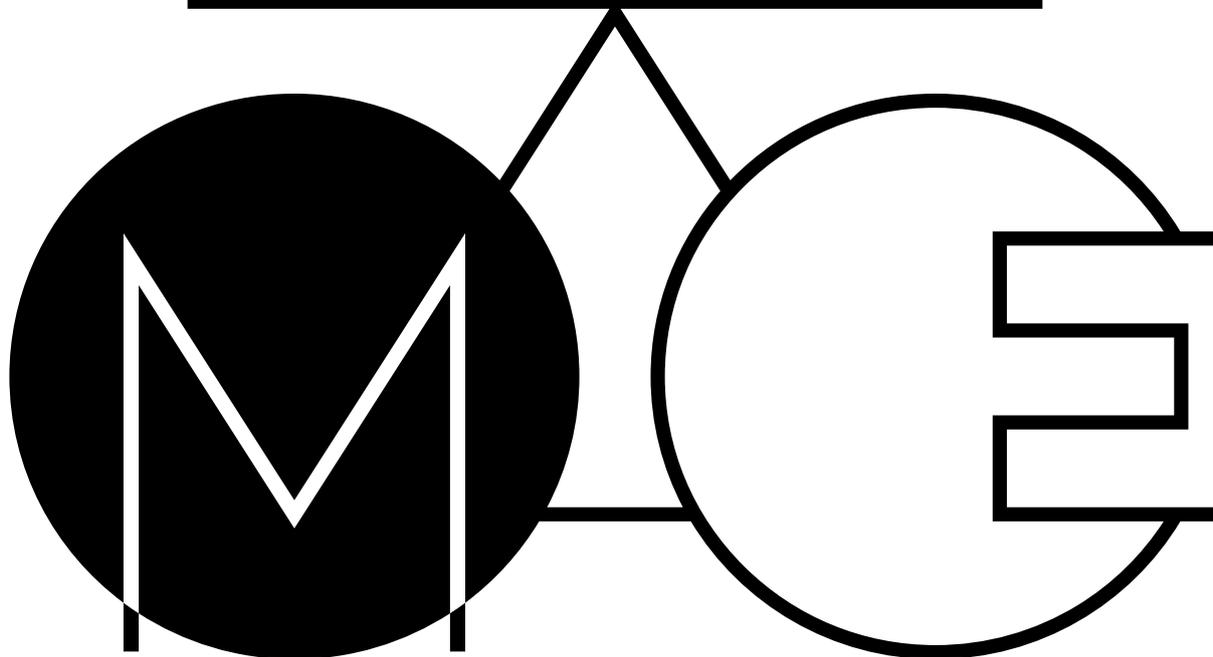


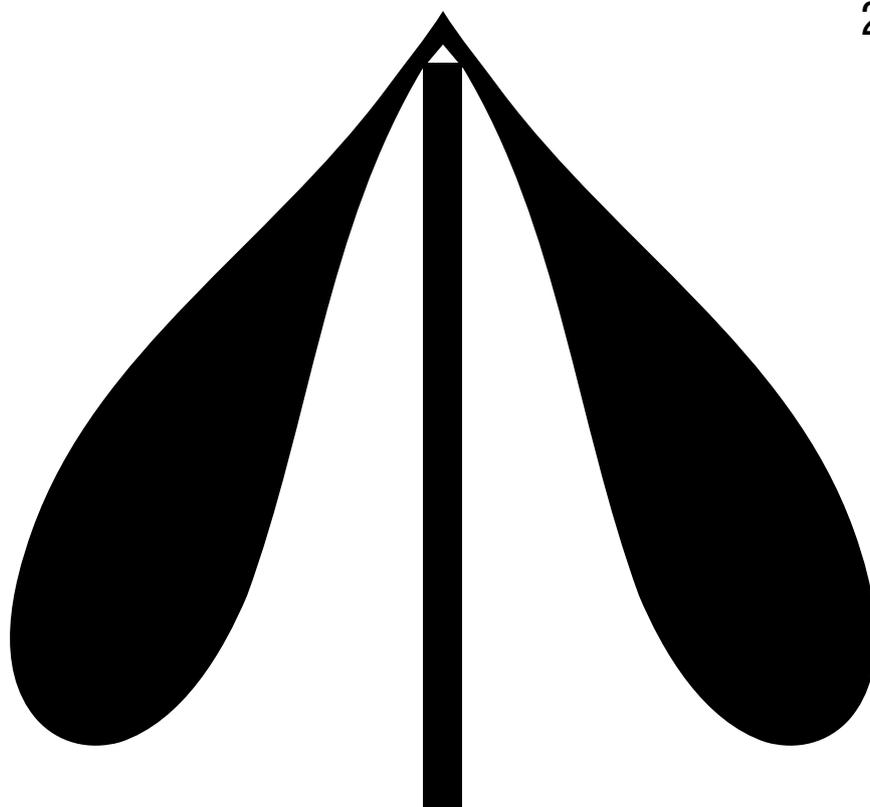
現代美術の
新たな公募展
ミモカアイ

MIMOCA EYE



2022年春

丸亀市
猪熊弦一郎
現代美術館



公益財団法人ミモカ美術振興財団
〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1 (JR丸亀駅前)
Tel. 0877-24-7755 www.mimoca.org



2022年春、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館は 現代美術の新たな公募展「MIMOCA EYE / ミモカアイ」を始めます。

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(MIMOCA)は、2021年11月23日に開館30周年を迎えました。これまでも常に新しいものを積極的に紹介する現代美術館として活動してきましたが、大きな節目を迎え、新しく2022年、若いアーティストを支援する公募展「MIMOCA EYE / ミモカアイ」を始めます。

「アートとはその時代の答えであって、アーティストはこの現代をどう表現するのかという責任がある。それがコンテンポラリーアート。未来に向かってアーティストがどういうふうに向かおうか、今にないものを発見していくかという、一番大事で一番難しいことの結果を見せる美術館であってほしい」(猪熊弦一郎)

猪熊弦一郎のこの言葉を指針とするMIMOCAは、フレッシュな感性をもつ人々の才能に大いに期待しています。そこで、これからを担う若いアーティストが時代を捉えながら新しい表現を生み出し、独自の才能をはばたかせる起点となる場として「MIMOCA EYE / ミモカアイ」を創設します。

MIMOCAでは、2000年に当時32歳だった中山ダイスケの個展を開催、その後、活躍が期待される40歳以下の作家の個展を「MIMOCA'S EYE」としてシリーズ化し、2001年にvol.1の野口里佳、2009年にvol.2の小金沢健人を、2013年にはvol.3としてフランス・アップリチャードを取り上げてきました。この度の「MIMOCA EYE / ミモカアイ」は公募展へと変わり、芸術家として活動する若い人たちに門戸を広げ、発展の場とするものです。1次審査で選考された入選者による展覧会「MIMOCA EYE / ミモカアイ」を開催し、さらに入選者の中から大賞受賞者を選出します。大賞には賞金のほか、副賞として丸亀市猪熊弦一郎現代美術館での個展開催の機会を提供し、受賞後の更なる飛躍を後押しします。

MIMOCAは未来を開く作品に挑戦するアーティストを応援します。

●賞

大賞(1件)

賞金100万円、副賞として丸亀市猪熊弦一郎現代美術館での個展開催の機会

●応募資格

2022年4月1日時点で35歳以下、活動歴が3年以上の方またはグループなど

●出品料

無料

●選考委員

募集要項にて発表

●第1回展スケジュール(2022年)

4月 募集要項発表

春 作品応募受付

夏 1次審査(書類審査): 入選作品発表

秋 2次審査(作品審査): 受賞者発表および入選作品による「MIMOCA EYE / ミモカアイ」展開催

2023年度以降 大賞受賞者による個展

●主催

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館／

公益財団法人ミモカ美術振興財団

※詳細は募集要項で発表します。また新型コロナウイルスの感染拡大等により、日程・内容が変更になる場合があります

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館／

公益財団法人ミモカ美術振興財団

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1 (JR丸亀駅前)

Tel. 0877-24-7755 www.mimoca.org